

浄化槽（51人槽以上）施工状況報告書

建築主 事務所 様
 保健所 市長
 移譲市 市長
 指定確認検査機関

浄化槽工事業者 大阪府知事（登届一）第 号
 大環水指協 第 号

商号及び代表者氏名

浄化槽設備士 免状番号 第 号
 大環水指協（）第 号

氏 名

大阪府浄化槽事務処理要領第4の規定により施工状況を報告します。

建築主		人槽・計画汚水量 JIS 人 m ³ /日		
設置場所		槽 の 構 造	1.RC	告示区分 第 号
建築確認番号	第 年 月 日 号		2.FRP	製造会社名
				型式認定番号
				型式適合認定番号

報告項目	細 目	状況	備考
一 般 構 造	設置場所及び地盤高等は設計通りか	良・否	
	槽の配置・構造は設計通りか	良・否	
	槽本体を満水して24時間以上漏水しないか	良・否	
	維持管理が容易かつ安全にできる構造となっているか	良・否	
	各種配管・機械装置等は堅固に取り付けられているか	良・否	
	マンホールの位置・蓋の径は設計通りか	良・否	
	バルブ等の名称の表示はよいか	良・否	
	放流管底と放流先水面には適切な落差があるか	良・否	
	周辺に対し騒音等の影響はないか	良・否	
基礎工事等	FRP	RC	
	栗石敷厚 (cm)		良・否
	基礎底版コンクリート厚 (cm)		良・否
	基礎底版 配筋 (鉄筋径 mm) (ピッチ cm) ※		良・否
	壁又は支柱 配筋 (鉄筋径 mm) (ピッチ cm) ※		良・否
	上部スラブ 配筋 (鉄筋径 mm) (ピッチ cm) ※		良・否
	槽の基礎への固定		良・否
		槽の形状・寸法	良・否
		槽の内部仕上	良・否
		槽の防水措置	良・否
		移流口開口部の位置	良・否
内部配管の径・取付け位置・取付け状態		良・否	

前処理・一次処理	スクリーン等	導入管底と導入路底面との落差	良・否	
		各スクリーンの目幅、機幅、傾斜角	良・否	
		スクリーンかす収納かごの容量・取付け状態	良・否	
		スクリーンユニットの稼働状況	良・否	
		破砕装置・自動スクリーン・排砂装置の型式・能力・運転状況	良・否	
		副水路（バイパス）のゲート板の取付け	良・否	
	汚水ポンプ槽	ポンプの型式、仕様、台数及び運転状態	良・否	
		ポンプの液面スイッチのレベル設定は適切か(LWL・HWL・AWL)	良・否	
		満水警報装置の設置	良・否	
	沈砂槽	排砂槽の形状、寸法、容量	良・否	
		ばっ気装置、消泡装置、排砂装置の運転状況	良・否	
	沈殿分離	流入管、流出管の径、開口部の位置、取付け状態	良・否	
	流量調整槽	ポンプの型式、仕様、台数及び運転	良・否	
		ポンプの液面スイッチのレベル設定は適切か(LWL・HWL・AWL)	良・否	
		唼水防止対策（オーバーフロー管又は非常ポンプ）	良・否	
攪拌装置の攪拌状況		良・否		
満水警報装置の設置		良・否		
流量計量装置の形状、寸法		良・否		
	計量ぜきの構造（移流量の計測及び調整ができるか）	良・否		
二次処理	ばっ気槽 担体流動槽等	ばっ気槽の取付けとばっ気、攪拌状態	良・否	
		消泡装置の取付けと消泡状態	良・否	
		担体の流動状態	良・否	
	接触ばっ気槽 生物ろ過槽等	ばっ気槽の取付けとばっ気、攪拌状態	良・否	
		消泡装置の取付けと消泡状態	良・否	
		逆洗装置の取付けと逆洗状態	良・否	
		はく離汚泥の引抜装置	良・否	
		接触材の充填率と支持、固定方法	良・否	
	沈殿槽	整流装置の形状、寸法、取付け状態	良・否	
		バッフルの形状、寸法、取付け状態	良・否	
		越流ぜきの形状、寸法、取付け状態及び越流状態	良・否	
		スカムスキマーの作動状態	良・否	
		汚泥移送装置の作動状態	良・否	
		汚泥計量装置の形状、寸法	良・否	
		計量ぜきの構造（返送量の計量及び調整ができるか）	良・否	
消泡ポンプ	消泡ポンプの型式、能力及び運転状態	良・否		
消毒槽	消毒装置の設置状態及び混和状態	良・否		
放流ポンプ槽	放流ポンプの型式、能力及び運転状態	良・否		
	ポンプの液面スイッチのレベル設定は適切か(LWL・HWL・AWL)	良・否		
	満水警報装置の設置	良・否		
汚泥濃縮貯留槽	脱離液返送装置の取付け状態	良・否		
汚泥濃縮槽等	槽は密閉状態であり、汚泥の引抜き及び搬出が容易な構造か	良・否		
機器室	換気設備、照明設備の設置	良・否		
	フローシート、施工業者名等の表示	良・否		
	送風機の型式、仕様、台数及び運転状態	良・否		
	流量調整槽ポンプ稼働時間積算計	良・否		
	機器据付け状態	良・否		
	予備電源設備仕様又はエンジン付きポンプ仕様	良・否		

※については、写真を添付すること。

備考 1 用紙の大きさは、日本産業規格 A 列 4 番とする。

2 本様式は、標準的な仕様であり、特殊な構造の場合については、別途作成を要する。